

KinPre
近畿プレス
 (本社)
 大阪府東大阪市新町9-24
 ☎0729-87-1151 FAX0729-87-1150
 <寝屋川スクラップセンター>
 大阪府寝屋川市高宮112-1
 ☎072-821-0024 FAX072-820-7711
 <奈良営業所>
 奈良県宇陀郡菟田野町大字佐倉884



発行所
株式会社 日刊市況通信社
 大阪本社 大阪府中央区日本橋1-17-20 日本橋丸ビル5F
 電話 06(6631)5651番(代表)
 東京本社 東京都千代田区東神田1丁目5-5 マルキビル4F
 電話 03(3864)6021番(代表)
 振替口座 00170-8-363521番
 名古屋支社 名古屋市中村区豊国通1-26-1 犬飼ビル4F
 電話 052(411)6521番(代表)
 振替口座 00880-3-11099番

購読料(前納) 1年21,000円 1部2,100円(消費税含) 毎月25日発行(禁転載)

今月の鉄・非鉄スクラップ

■ 国内 本紙モニターによる国内主要3地区H2炉前実勢値は、7月入り以降下げ渋りとなり、14日に行われた関東鉄源協組8月積み輸出テンダー値が、H2物FAS 19.6平均と前回比1,100円反発となったのを受けて、全体に市況底入れ模様となっている。しかし、この間の下げ幅は7月3週末で関東H2炉前25.4から18.2へ7,200円(28%)、中部24.0から16.5へ7,500円(31%)、関西23.8から18.8へ5,000円(21%)、3地区平均が24.4から現状17.8へ6,600円(27%)と大幅で、すでに昨年この時期の22.0(3地区平均)に対して4,200円(19%もの安値となった。なお、新断は3地区平均で4月2週末ピーク値30.6に対して、7月3週末値が20.1となり、下げ幅1万500円(34%)とH2値より3,900円も大きくなっている。目先、国内電炉は夏季電力規制と夏休みに伴う減産期に入っており、主要埠頭の輸出値反発に対して模様眺めを続けている。

■ 海外 海外相場は、2ヶ月以上にわたった値下がり相場が一転、底入れ反発に転じた。米国内市況は、ファクトリーバンドルの7月払い出し価格が前月比3.00ドル高の158.00ドルになったことから、全体的に強含んだ。No.1ヘビーのコンポジット価格も直近安値の120.83ドル(6月)から137.67ドル(7月11日)まで回復した。欧州市況も、トルコ・ミルの手当て復活で輸出価格が上昇。欧州域内も値上がりする展開となった。

このため欧米シッパーは、売り腰を強めており、東アジア向けの輸出価格は、米No.1ヘビーベースCIF220ドル~225ドルどころとなっている。これからの契約は、9月以降の需要期に入着する分のため、欧米シッパーはさらに強い姿勢で商談にのぞむ構えだ。

一方、東アジアでは中国の鋼材市況がようやく底入れの兆し。中国、台湾ミルの海外鉄スクラップに対する購入意欲が回復しつつある。ただ、韓国ミルは減産強化で輸入玉手当に積極的でない。

■ 関東・東海埠頭 関東地区東京湾岸のスクラップ状況だが、現在湾岸には商社・シッパー筋の埠頭ヤードが37カ所前後に増えており、ここでの在庫容量は17万トン前後に達している。今年4月の市況ピーク時には、ここに15万トン程ストックされたことと見られたが、その後の反落時の積み出しで現在5万トン程度に減ったのでは。その折、この間台湾向け8月積み輸出引き合いが入り、それ用を含めて買い姿勢が積極化しており、足元の輸出H2物FAS値は17.5~18.0、高値18.5どころ(内航17.0どころ)へ底値比500~1,000円ジリ高の動き。東海地区でも、関東同様に埠頭在庫は薄くなっており、しかも

この間H2ないしH3ミックス物FAS15.0~16.0どころに下押ししていたため、集荷も低調だった。それが同様に8月へ向けて輸出引き合いが入りつつあり、H2物で再び17.0どころへ上げての買いも出始めた。また新断のFAS値は19.5~20.0どころ。

■ 非鉄 相場高いが需要冴えない展開 7月の非鉄スクラップ市況は、銅中心に依然として高値推移している海外非鉄相場と為替の円安により、指標理論値としての非鉄スクラップ相場基調は決して弱くはないのだが、ステンレスを筆頭に需給の論理が指標理論を上回ってダウントレンドのさなかにあるものもあり、一方ではアルミのように需要がシッカリ安定していることで理論値に近い相場で動いているものと様々。

国内銅建値は22日現在今年最高値の47万円/tで推移中。アルミスクラップは旺盛な合金需要に対する供給不足に指標新塊相場高も噛み合せて強含みの展開。続落中のステンレススクラップはメーカーの大幅な夏季減産によるスクラップ購入量のシビアな枠制限と荷止め攻勢&大胆な値下げで、決して発生は多くないのだが、余りモノに相場なしの様相を呈している。

今月号の紙面

- 非鉄リサイクル特集2005~量的拡大から質的追求の時代..... 2
 - 1 アルミ缶リサイクルの質的向上について..... 2
 - 2 市場構造変化の影で揺れ動くバッテリーリサイクルシステム... 3
 - 3 非鉄製錬所におけるリサイクル廃棄物処理の現状..... 6
 - 4 中国のリサイクル市場と今後の動向..... 7
- NAGOYA進出で国内ネットワークの完全構築果たす~(株)吉中商事...11
- 株伊藤商店(京都市)、向日工場がオープン.....12・13
- 拓南商事=コベルコが切り開く 現場からの報告(No.36).....14
- 大越工業 自動車リサイクル工場稼働.....15
- 国内鉄スクラップ市況7月誌.....16・17
- 財務省統計 4月の税関別鉄スクラップ輸出(修正).....18
- 現代(秋田県)、総合リサイクルセンターを開設.....19
- ミナミ、基本理念「大切にしたい」で地域社会に貢献.....20
- 10th ANNIVERSARY ミリオン合金北関東支店SPECIAL.....21
- 資源リサイクル・廃棄物情報.....22・23

日刊市況通信ホームページ

<http://www.mrj.jp>



マグネット仕様機

スクラップの荷振れが少なく、迅速にキャッチして、スムーズにリリース。

■仕様

型式	ZAXIS120	ZAXIS200	ZAXIS200LC	ZAXIS230	ZAXIS300LC	ZAXIS450LC
フロント	2.25m7-Δ	2.91m7-Δ	2.22m7-Δ	2.99m7-Δ	2.66m7-Δ	4.9m7-Δ
運転質量 kg	12,400	21,000	22,300	26,000	35,900	49,100
マグネット質量 kg	820	1,400	2,210	2,210	2,990	2,990
最大作業半径 mm	7,215	8,680	8,020	8,955	9,195	11,980
最大作業高さ mm	6,850	7,595	7,100	7,610	7,715	9,620



ジャイアントシャー

強力な切断力で鉄骨をはじめ船舶や鉄道車両などの大型構造物を圧砕・切断。

■仕様

型式	ZAXIS350LCK	ZAXIS450
運転質量*1 kg	38,100	49,600*2
アタッチメント質量 kg	7,090	9,000
最大開口幅 mm	855	910
最大切断力 カッタ中央 kN(tf)	2,940(300)	3,300(337)

*1:ジャイアントシャーを含む数値です。
 *2:1t増量カウンタウエイ付きの数値です。



ホイール式スクラップ仕様機

確実にスクラップを捕らえる強力な腕先、安全性豊かな頼れる足回りを採用。

■仕様

型式	ZAXIS250W	ZAXIS300W	ZAXIS350W
運転質量* kg	25,300	31,900	34,000
走行速度 km/h	20.0/6.6/2.0	14.0/4.0	15.0/4.2
最大作業半径 mm	12,000	14,260	9,600
最大作業高さ mm	10,700	14,590	12,300

*アタッチメント質量を含みません。

リサイクル社会を広げる、日立建機の金属リサイクル機



日立建機株式会社 東京都文京区後楽2-5-1
 〒112-8563 ☎ダイヤルイン(03)3830-8033
 URL:<http://www.hitachi-kenki.co.jp>

地球環境 の世紀へ

資源リサイクル・廃棄物情報 (非鉄・廃棄物頁)

7月の非鉄スクラップ相場概況

7月の非鉄スクラップ市況は、海外相場高+為替の円安という相場上昇条件が揃ったなかで、各非鉄製品の需給、生産状態の違いなどマーケット環境の違いが其々のスクラップ価格に色濃く反映された。製品需要旺盛なアルミは一貫して強基調、需要減退でメーカーも夏季減産強めるステンレススクラップは指標お構いなしの続落、と市況展開は異なった。古紙相場は国内もち合い、輸出向けは円安要因で4ヶ月ぶりに反発した。

■ 銅系 = 相場高いが需要振るわず

銅、真鍮、青銅系のスクラップ市場は軒並みメーカーの需要減による購入数量低下が続いており、LME銅、国内建値の指標相場高と現物需給は全くそぐわない展開となっている。これは既に5月頃から顕在

化しているマーケット動向であり、問屋、商社の直納筋はプラトリーな市況を手放して喜べないのが実状である。国内建値は今年最高値の47万円/tで推移中(22日現在)。マクロ的に見るとドル高+金利上昇という2つのメタル市況下げ要因が存在するため中長期的なトレンドは「下げ」なのだが、足許では世界銅需給のひっ迫感を手がかり材料として、中国系ファンダーの思惑買いなどで流動的ながら騰勢感が残っている、といった概観。

■ アルミ系 = 上げ基調

メインの非鉄スクラップ中、最も需要が安定し、相応の相場で取引されているのがアルミスクラップである。背景は自動車生産好調~二次合金製品需要旺盛~合金メーカーの生産稼働率高し~原料購入意欲も高い、というポジティブフローが形成されており、指標NSP相場も足許4月中旬の高値圏(240~245円)に突入していることで、合金メーカー各社は公表こそしていないが、現場での買値はジリ高基調を強めている。但し製品販価安という現実が横たわっているため、メーカーサイドはかなり細かい個別対応で効果的に集荷量を上げている様子。

■ ステンレス304系 = 下げ基調

全国各地で梅雨明けが伝えられる昨今だが、ステンレススクラップ市場はまだ梅雨のさ中である。304系はまさに需給の論理力学で月中10円/kg下げが漸行された。これによりステンミルの304スクラップ表面建値は101~105円、実勢では135~140円という価格帯まで下落している。ご承知のようにステンミル各社は大手中心にかつてないほどの大幅な夏季減産を実施しており原料購入量はきわめてシビアに制限されている。さらに今月末から各社とも夏休みに入ることでなお「狭き門」になることは確実で、荷止め+追加下げが敢行される可能性は大。

非鉄金属スクラップ相場 (問屋持ち込み ¥/kg)

	7月22日 現在			6月22日 現在		
	大阪	東京	名古屋	大阪	東京	名古屋
込み 銅	250	250	250	235	235	235
廃被覆銅線 (銅分40%)	145	145	145	130	130	130
込み 真 鍮	158	158	158	150	150	150
アルミ缶プレス A	95	96	94	95	96	94
アルミ缶プレス B	82	80	80	82	80	80
アルミ缶バラ	75	75	74	75	75	74
アルミ厨房品	90	90	93	90	90	93
アルミビス付きサッシ	99	102	102	99	102	102
18-8 ステンレス	92	92	92	122	122	122
クローム系ステンレス	20	20	20	25	25	25
鉛 管 板	27	27	27	38	38	38
バ ッ テ リ ー	5	5	5	5	5	5

アルミ缶プレスの二次合金メーカー標準買値

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均
2001年	90	95	80	80	88	83	80	80	80	78	76	81	82.6
	(110)	(115)	(100)	(100)	(110)	(105)	(102)	(102)	(102)	(100)	(98)	(103)	104.0
2002年	90	90	95	95	90	90	80	80	80	80	85	90	87.0
	(110)	(110)	(115)	(115)	(110)	(110)	(100)	(100)	(100)	(100)	(105)	(110)	107.0
2003年	85	85	85	85	80	80	80	85	80	80	85	90	83.0
	(105)	(105)	(105)	(105)	(100)	(100)	(100)	(105)	(100)	(100)	(100)	(105)	102.5
2004年	90	100	105	100	95	98	100	100	100	103	103	100	99.5
	(105)	(115)	(120)	(115)	(110)	(113)	(115)	(115)	(115)	(118)	(118)	(115)	114.5
2005年	100	97	97	100	95	95	95						
	(115)	(112)	(112)	(115)	(110)	(110)	(110)						

※上段はB缶(スチール缶混入のもの)、下段カッコ内はA缶(アルミ缶99%以上)の価格

再生用古紙相場

新聞・雑誌・ダンボール相場 (日刊市況通信社調べ・問屋への売り値 円/kg)

7月20日調査分		東北	関東	東海	北陸	近畿	中国	全国平均
古新聞 (込み)	高値		5.0	5.0			5.0	5.0
	並値	4.0	4.5	4.5		4.5	4.5	4.4
	安値		4.0	4.0			4.0	4.0
雑誌	高値		4.0	4.0		4.0		4.0
	並値	2.5	3.0	3.0		3.5	3.5	3.1
	安値		3.0					3.0
ダンボール	高値	5.0	5.5				5.5	5.3
	並値	4.0	4.5	4.0		4.5	4.5	4.2
	安値	3.0	4.0			4.0	4.0	3.7

リキマグレーンのトップメーカー

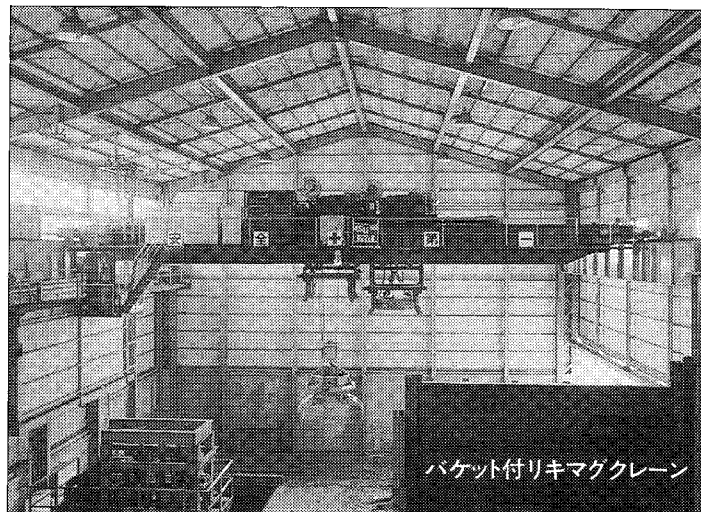
(リフティングマグネット付)

原点にアビリティー

Seiden

楽々と運ぶ!

- リキマグレーン
 - II型...巻上33kW 100%ED
 - III型...巻上50kW 100%ED
 - III-X型...巻上63kW 100%ED
- バケット付リキマグレーン
- トラフティークレーン
- クラブ式天井クレーン (西電標準ホイスト式天井クレーン)
- ホイスト式クレーン各種製作
- アフターサービス完備
- 短納期
- 経験豊富な設計



バケット付リキマグレーン

- クレーン運転室から自動プレス・ギロチン等のリモートコントロール容易
- 住友製・神鋼製 リフティングマグネット特約店
- 自動制御装置・設計・施工

愛知労働基準局・製造許可工場

Seiden 株式会社西電工機製作所

知多工場 知多市新刀池2-10 (テクノランド知多工業団地内)
〒478-0022 電話 (0562) 56-6787(代) FAX (0562) 56-6788

地球環境
の世紀へ

資源リサイクル・廃棄物情報(鉄スクラップ)

スチール缶リサイクル協会、16年スチール缶リサイクル率87.1%、経産省ガイドライン4年連続達成

スチール缶再利用の推進・広報活動を行う「スチール缶リサイクル協会」(理事長=宗岡正二氏・新日本製鐵㈱代表取締役副社長)は7月14日、東京・大手町の経団連会館で記者会見を行い、平成16年のスチール缶リサイクル率は87.1%で前年の87.5%から0.4ポイントダウンしたものの経済産業省の構造審議会ガイドラインである85%以上を4年連続で達成したと発表した。

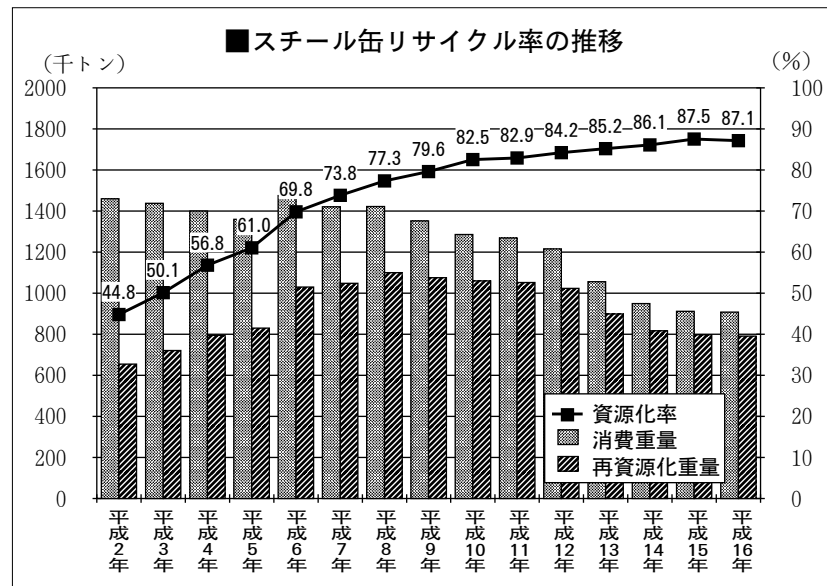
昨年比0.4ポイントダウンとなったことについて酒巻弘三専務理事は「実際のリサイクル率は昨年からはほぼ横ばいという認識。昨年のスクラップ供給が逼迫した時期にスチール缶が他のスクラップに混入した分があるのではないかと語った。

具体的な算出結果は、スチール缶スクラップ購入量85万9,137トンから異物重量2万5,896トン、飲料缶用アルミ蓋重量4万1,943トンを引いた79万1,298トンがスチール缶再資源化重量となり、これをスチール缶消費重量90万8,397トンで除すと87.1%となる。

スチール缶リサイクルは地球温暖化防止にも貢献している。平成16年に再資源化されたスチール缶重量約80万トンは鉄鉱石からの製造に比べてエネルギー消費量が75%、またCO₂の発生が82%少なく抑えられる。これは約90万世帯分の年間電力使用量(名古屋市分にほぼ匹敵)を削減できたことになり、CO₂排出削減効果としては43万世帯分の年間CO₂排出量(北九州市分に相当)を削減する効果がある。

昨年度より始めた取り組みであるWFP(国連世界食糧計画)学校給食プログラムへの協力として、協会は平成15年のスチール缶再資源化重量79万6,921トンに応じ食糧缶8,000缶相当の金額支援を平成16年度中に同プログラムを通じて実施した。平成16年のスチール缶再資源化重量に応じ、昨年度と同程度の金額支援を今年度も行う予定。

また同協会は2005年度の広告・キャンペーン活動として、7月14日から10月13日までの期間、都内の地下鉄主要駅で交通広告を掲出する。イメージキャラクターは「鉄人28号」で、一昨年から3年連続の採用となる。「スチール缶は安心缶」のキーワードと共にスチール缶の特長である密封性、遮光性、強度、またリサイクル率の高さなどをアピールしていく。



鉄スクラップ持込み問屋買値 (7月20日現在)

	東京		名古屋		大阪	
	当月	前月	当月	前月	当月	前月
ギロチン材(上)	10.5	10.5	8.5	9.0	7.5	8.0
ギロチン材(下)	8.5	8.5	6.9	7.4	6.5	7.0
下級材 A	0	0	0	0	0	0
下級材 B	▽5.0	▽5.0	▽3.0	▽3.0	▽3.0	▽3.0
下級材 C	▽5.0	▽5.0	▽3.0	▽3.0	▽2.0	▽2.0
スチール缶(ミニプレス)	1.5	1.5	5.0	5.5	7.4	7.9
廃家電品	-	-	-	-	-	-

メーカー持込み価格(炉前値)(トン当たり)

H 2	18.0	18.5	13.9	14.4	14.9	15.4
缶プレスCS	13.5	14.0	11.2	11.7	11.7	12.2
缶プレスC	7.0	7.5	9.2	9.7	10.1	10.6
シュレッダーA	18.5	19.0	13.0	13.5	15.2	15.7
シュレッダーB	17.5	18.0	11.2	11.7	-	-
シュレッダーC	15.0	15.5	10.0	10.5	11.6	12.1

▽印は加工処理困難物のための処理料(逆有償)金額

スチール缶(缶プレスCS)価格動向

(関東地区電炉工場渡し トン当たり千円・現金または手形による)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均
平成9年	10.7	11.6	12.1	12.3	12.5	12.9	13.0	13.2	12.9	12.7	12.7	12.7	12.4
10年	12.3	9.9	8.9	8.8	8.9	9.5	9.5	8.7	7.9	6.9	6.1	6.0	8.6
11年	5.8	4.9	4.7	5.0	5.5	6.3	7.2	7.4	6.0	6.2	7.0	7.5	6.1
12年	7.2	6.8	7.5	8.0	8.2	7.5	7.2	7.3	7.2	7.3	7.1	7.2	7.4
13年	6.5	6.0	5.8	5.8	5.4	5.0	5.1	5.5	5.5	6.0	6.5	6.5	5.8
14年	6.8	8.0	8.1	8.1	8.2	9.0	9.0	9.0	8.5	9.0	9.5	9.6	8.6
15年	10.2	11.7	12.2	10.7	10.0	10.0	11.0	11.5	12.0	12.5	13.5	15.5	11.7
16年	17.5	21.0	22.5	16.0	14.7	13.7	18.2	21.5	17.2	21.7	18.5	17.0	18.3
17年	16.0	16.5	19.0	20.3	17.5	14.5							17.3

※上表は関東地区に於ける缶プレスCS規格の主要電炉工場買値平均推移で、供給数量が月間50~100トン以上で安定している物の購入価格。
 ※そのため東日本でも東北・北海道地区などはこれより2,000~3,000円安値。
 ※CSプレスとは飲料缶等スチール缶をプレス加工したもので、3辺の和が1,800ミリ以下。乾電池、スプレー缶、ビニール等の異物、不純物を完全に除去した良質品。

鉄・非鉄スクラップのすべてMRM

メタル・リサイクル・マンスリー

特集号含む年間13回発行
購読料 21,000円(年間)
《消費税含む》

大阪本社 TEL.06(6631)5651番(代)
FAX.06(6631)5725番(代)
東京本社 TEL.03(3864)6021番(代)
FAX.03(3864)6024番(代)
名古屋支社 TEL.052(411)6521番(代)
FAX.052(411)6530番(代)

CSプレスの品質は向上し一段とリサイクルし易くなりました。

スチール缶の自治体による分別収集の精度の向上と
錫を使わないティンフリー鋼板が増えたためです。

Cプレス不純物元素含有率(重量%)

	銅	錫
昭和52年調査	0.46	0.35
平成4年調査	0.02	0.20
平成12年調査	0.02	0.13

スチール缶のリサイクルについてのお問い合わせは
TEL.03-5550-9431

JAPAN STEEL CAN RECYCLING ASSOCIATION
スチール缶リサイクル協会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鉄木挽ビル1階